

2018年度 第1回理事会議事録

【日時】2018年9月11日(火) 19:00～21:00

【会場】釧路市中園町24番10号杉元内科医院会議室

【出席者】(五十音順・敬称略)

理事長：杉元 重治

副理事長：竹田 匡 谷藤 公紀 望月 誠

理事：浅野 洋郎 稲荷 弥生 岩瀬谷加奈 岡田 実継 金森 泰夫

細川 克裕 宮前 彰彦 吉野 整子 米澤結実子(計13名)

監事：若杉 貴子(計1名)

【欠席者】(五十音順・敬称略)

理事：なし(0名)

監事：なし(0名)

議事

1 定足数の確認

出席者13名により、理事総数の過半数(7名)を上回っていることを確認した。

2 議長選任

定款第35条にもとづき、杉元理事長が望月副理事長を指名し議長に就任した。

3 議事録署名人選任

定款第38条にもとづき、望月副理事長と杉元理事長を議事録署名人とした。

4 開会挨拶

杉元理事長から開会の挨拶があった。

5 議案

(1) 特定非営利活動法人CCL費用弁償に関する規則(2018年規則第1号)

竹田副理事長から資料のとおり説明が行われ、原案のとおり承認された。

(2) 特定非営利活動法人CCL役員選出規則(2018年規則第2号)

竹田副理事長から資料のとおり説明が行われ、原案のとおり承認された。

(3) 特定非営利活動法人CCL理事会運営規則(2018年規則第3号)

竹田副理事長から資料のとおり説明が行われ、原案のとおり承認された。

6 協議事項

(1) 2018年度事業分担について

竹田副理事長から資料に基づき、法人運営は竹田副理事長が統括し、事業運営は望月副理事長が統括し、外部会議統括は谷藤副理事長が統括するなどの説明が行われた後、「各事業を理事一人1つずつ担当するのか」という質問があり「各部門毎にグループ制にするか、事業毎に担当するかは希望を踏まえながら調整する」と回答がなされた。具体的な役割分担は、後日、竹田副理事長からメール等で希望を確認の上、役割分担をすることを確認する。

(2) 中期計画の策定について

竹田副理事長から資料に基づき説明が行われた後、次のとおり協議を行う。

【主な意見】

- 看取りの意思決定が途切れないよう、施設と病院の連携だけではなく家族と患者も入れるような釧路地域で共通のツールがあれば、退院時の調整や情報共有に役立つのではないかと。千葉県では実際に行政が主体となり情報共有シートを作成しており、ホームページで自由に利用できるようになっている。
- ケアマネの事業所によっても情報提供のシートが異なり、医療機関等が本当に欲しい情報なのか。繋がりや看取りに向けて本人や家族の意思決定をする際の情報は受け入れ先が変わると、しっかりと伝わらないことがあり共通の土台となる共有シートの作成が必要ではないか。
- 職種別に、目線や必要な情報が違うため具体的なツールや場所が必要。家族、本人、市民やヘルパーの情報等をどのようにして取り込むか。地域レベルが異なるため、先進事例を学びながら釧路地域の皆で使えるものを作成することもCCCLの役割と考える。釧路の特性を考え包括ケア・地域ケア等を考えたときにCCCLで取り組んできた医療・介護の枠を広げ、福祉や障害と一緒に取り組むことが、今後の釧路地域の一つの方向性であり視点である。高齢障害者や重症疾患のある障害者等はサポートが不十分であり、今後の釧路地域の課題としても障害・福祉をCCCLの中でも取り入れていくことが必要ではないか。
- 会員確保からも、介護職員も気兼ねなくサロンや研修会へ参加して頂くことで、CCCLの理解も広まり更には会員に繋がるのではないかと。
- CCCLが受け入れる場所や相談窓口となり、どのような職種も参加しやすいような研修会やサロンでの雰囲気作りが大切。
- 介護職員は医療用語等を知らないことがあるが、それを伝えるのは医者のみでなく、例えばクラーク等が説明すると質問もしやすく受け入れやすいのではないかと。
- 相談員がいない病院での、一般市民の相談役になる相談員の配置。

【決定事項】

- 出された意見を踏まえながら、次回理事会までに整理し方向性を定めていくこととなった。

(3) 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団助成事業について

竹田副理事長から資料に基づき説明が行われた後、次のとおり協議を行う。

【主な意見】

- 一般の人が聞いて理解できるように、共に考えて一緒に決定していけるような研修会として開催してはどうか。

【決定事項】

- 3回の開催にあたり、当日の役割分担等はあらかじめ連絡調整をすることとなった。

(4) 釧路市との委託契約締結及びサロン・研修会の実施について

望月副理事長から資料に基づき説明が行われた後、出された意見は特になく、2018年度事業分担を踏まえながら、理事に協力を要請することとなった。

(5) 事例収集「みなさまの取り組みを教えてください」について

竹田副理事長から資料に基づき説明が行われた後、次のとおり協議を行う。

【主な意見】

- さまざまな職種や機関間等による一つと一つの協働作業の成功体験の事例として募集してはどうか。
- 職種によっては、事例をまとめて、文章化するのが難しいのではないか。
- SNSを活用し写真と短文等（インスタグラムのようなイメージ）、表現のしやすいように集約してはどうか。

【決定事項】

- 投稿しやすいように映像と短い文章（4～5行程度）等で集約し、取材等を通して新しい繋がりを広げていくこととなった。

(6) 地域住民向け研修会の開催について

竹田副理事長から資料に基づき説明が行われた後、次のとおり協議を行う。

【主な意見】

- さまざまな団体の活動を繋ぐ場として活用できるのではないか。
- 理事も講師として、登壇することも良いのではないか。

【決定事項】

- 提案のとおり実施することを確認する。実施にあたっては、後日、企画等を検討の上、他団体や理事等に協力を要請することとなった。

7 報告事項

(1) 法人登記に関する事務手続き等について

竹田副理事長から口頭にて報告が行われた。法人設立に係る登記及び必要な事務手続きを完了した。さらに、あらたに法人として銀行口座の開設をし、後日、携帯電話を契約することが報告された。

(2) 会員の入退会について

竹田副理事長から資料に基づき報告が行われた。

8 閉会

21時00分閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2018年9月18日

議事録署名人 議長（副理事長）望月 誠

議事録署名人 理事長 杉元 重治

